

## 屋代高等学校附属中学校 オーストラリア研修3日目 報告書

現地校プログラム、2日目を迎えました。今日は現地生徒が参加するスポーツアクティビティが校外であったと言うことで、昨日とは違うバディとなった生徒もいました。毎日同じバディとは限らないと言う話をしていたのですが、早速そのような状況になり、昨日話せなかったことを話そう！と意気込んでいた生徒たちは出鼻をくじかれたかもしれせん。しかしながら、別の生徒との出会いで新しい挑戦の一日となりました。

今日もバディと数学やサイエンスなど様々なクラスに参加しました。昨日と比べると授業中の雰囲気はつかめてきたのか、授業の理解はさておき、教室に馴染んでいるように見えました。モーニングティーやランチでも外で立ったまま、時にはサッカーをしながらリンゴやサンドイッチにかぶりついている生徒もおり、2日目にしていだぶ現地生徒っぽくなってきたと感じます。今日はバレーボールも人気で、現地の生徒と一緒に汗を流していました。

Kahli 先生の Culture クラスは、オーストラリアについての授業ですので、ホストファミリーとの会話にうってつけです。毎日帰宅時に「今日は何をしたの？」とあいさつ代わりに聞かれる生徒たちにとっては、話しやすいトピックとなっているはずです。今日はオーストラリアの動物について学び、ちょうど説明していた鳥が外にいる！と見に行くような時間もありました。オーストラリアの中では小さい学校なのでしょうが、生徒から見ると、二階建てなのはほんの一部でほぼ平屋の校舎が続き、芝生のグラウンドへすぐ走り出せるこの環境は贅沢に感じているようです。

昨日の初日は様々な衝撃があったようで、毎朝提出してもらった日記を見ると、ほとんどの生徒が授業の自由さについて挙げていました。今まで知らなかった世界を知り、羨ましいと感じたり、不思議に感じたり、いずれにしても日本とは違うことをもっと知りたいと言う興味をそそられたようです。それと同時に現地生徒同士の会話の速さについていけない、と言う声も多くありました。ホストファミリーは自分たちに合わせてゆっくりと話してくれていたのだと言うことに気づいたようです。ただ、同年代の生徒とはきっかけさえあれば一気に距離が縮まるもので、共通の趣味の話題で盛り上がった、お勧めの場所を聞いた、など初日から上々の滑り出しをした生徒もいます。ホームステイと現地校での学校生活が始まり、順調に過ごしている生徒もいれば、うまく会話の糸口が見つからず苦戦している生徒も…。そこで今日は、授業の後に少人数のグループを作り、ホストファミリーやバディとどのような話をしているか、どのように話しかけているかを情報共有をしてもらいました。生徒同士の生きた情報をもとに、コミュニケーションのきっかけを見つけてくれたらと思います。



今日も芝生の上でランチ



教室の外で授業継続中



バレーボール対決



英語でフルーツバスケット



生徒同士で情報共有